

【単年度事業評価様式】

鶴見区地域子育て支援拠点事業
令和4年度重点目標評価結果・令和5年度重点目標

| | |
|----------------------|---|
| 事業実施期間 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日(5年度目／5か年度) |
| 事業の実施者 | 社会福祉法人青い鳥 鶴見区こども家庭支援課 |
| 事業目的 | <p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鶴見区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関与することができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営 |
| 事業の内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業) |
| 事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。 |

令和4年度重点目標の評価

| | |
|-----------|--|
| 令和4年度重点目標 | <p>【重点目標1】 妊娠から地域とのつながりを持ち、養育者が適切な時期に適切な情報を活用できるよう、区と協働しながら仕組みを構築していく。</p> <p>【重点目標2】 鶴見区の子育て支援の課題を、子育てに関わる様々な関係機関(鶴見区子育て支援ネットワーク)と共に共有し、課題解決に向けて共に活動できる仕組みづくりを目指す。</p> |
| 取組内容 | <p>【重点目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNSや親子が集まるような場を利用した情報発信を活発化し、拠点情報だけでなく地域の子育て支援情報を区民目線で内容を整理し、情報発信を強化していく。 ○ 妊娠から子育て支援情報にアクセスしやすいように、妊娠から参加できるイベントの実施や様々な場所での情報発信を強化する。 ○ 地域性を踏まえたアウトリーチ事業を展開し、関係機関と協力しながら、子育て支援施設が少なく情報が届きにくい場所での情報提供に努める。 ○ ネットワークの力を活用し、多様な情報を収集し、情報内容の充実を図る。 <p>【重点目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鶴見区子育て支援ネットワーク会議を開催する。感染症対策としてオンライン実施も視野に入れて準備を行う。 ○ 会議では、鶴見区の子育て支援の課題を共有し、その課題解決に向けて継続的に連携できる仕組みを検討する(部分ネットワーク会議の充実等)。 ○ 継続的な連携を視野に、拠点のあらゆる機能の連動を意識していく。 |

| | |
|-------|---|
| 取組の成果 | <p>【重点目標1】 【振り返り】 ○乳幼児健診会場の情報を整備した。 ○SNSを利用して活発に情報発信を行い、フォロワー数が増加した。 ・Twitterは、2つのアカウントからイベント情報や混雑情報をタイムリーに情報提供した。 ・Instagramは、拠点の様子が伝わるように、視覚的に情報提供。 ・HPでは、拠点の情報や地域の子育て支援情報を網羅的に集約して掲載した。 ○妊娠期から子育て支援情報提供を強化した。 ・親になる前準備教室でのワークを工夫し、地域資源をよりリアルに知ってもらうことができた。 ・区と共に、母子手帳交付での情報提供、両親教室でのPRを実施した。 ○アウトリーチ事業を公園、地域ケアプラザで実施し、ネットワークメンバーと共に、地域情報の提供に努めた。 ○ネットワークの力を活用し、多様な情報を収集し、情報内容の充実を図った。</p> <p>【重点目標2】 【振り返り】 ○鶴見子育て支えあいネットワーク会議(親と子のつどいの広場、乳幼児一時預かり実施施設、子育てひろば常設園)をオンラインで2回実施した ・課題を共有し、新たな活動につながった。 ○鶴見子育てネットワーク会議を、3年ぶりにオンラインで実施した。 ・ネットワークの目的の再確認、課題の共有、地域別のグループワークで課題解決について討議した。 ・グループワークで課題として挙げられた人材育成に関して、まめっこひろば、NPOつるみままっぷと連携し、人材発掘イベントの共催につながった。 ○地域活動の活性化に伴い、その活動への協力を強化した。 ・つるみ子育て個育ちフォーラムの活動に協力し、特に矢向地域でのイベント企画、開催に参画した。 ・矢向地区センターでのイベントで、企画、実施を担当した。 ・ふらっと一むの活動状況を把握し、その周知を強化した。 ・国際交流ラウンジとの連携を行った。 ・寺尾地区子育て支援団体交流会、連合町内会に参加。 ○地域に根差したネットワーク構築の必要性を、他区の試みを参考にしながら、協議した。</p> |
| 取組の課題 | <p>○親になる前準備教室などの妊娠期の事業を通して、地域の子育て支援情報を効果的に伝えることができたが、教室に参加しない多くの妊婦への情報提供をさらに工夫していく必要がある。</p> <p>○拠点や地域の子育て資源の情報提供をさらに工夫し、より多くの養育者が地域とつながる機会をサポートしたい。</p> <p>○あつまれえがお、子育て個育ちフォーラムなどの多分野のネットワーク資源を活用した鶴見らしいネットワークの構築を目指し、区と共に具体的な一歩を踏み出したい。</p> |

次年度重点目標

| | |
|---------------|---|
| 令和5年度 重点目標 | <p>【重点目標1】 妊娠期から地域とのつながりを持ち、養育者が適切な資源を活用できるような仕組みを作る。</p> <p>【重点目標2】 地域に根差した活動を視野に入れ、鶴見区子育て支援ネットワークのあり方を検討する。</p> |
| 取組内容 | <p>【重点目標1】 ○子育てサポートシステム新事業に関して、区と協働して準備、情報提供、円滑な実施を行う。 ○区と連携した妊娠期へのアプローチの強化(子育てマイカレンダーにつどいの広場掲載、妊娠8か月のおたよりに地域情報のチラシを同封などを検討) ○親になる前準備教室プレママプレパパの会を土曜日を中心に実施し、適切な資源の紹介に努める。 ○拠点利用のない妊婦や養育者へ向けての情報提供を強化する。</p> <p>【重点目標2】 ○あつまれえがお、子育て個育ちフォーラムなどの多分野のネットワークに参加し、これらの地域資源の横のつながり作りを検討する。 ○地区担当保健師との連携を深め、地域に根差したネットワーク作りを検討する。</p> |